

16 兆円規模のイベント業界を、IT を駆使してデジタルに改革
イベントプラットフォームアプリ『eventos (イベントス)』
フルリニューアルを発表

～東京ゲームショウ 2018 等の大規模イベントにも採用～



アプリ開発を行う株式会社ブレイブソフト（本社：東京都港区、代表取締役：菅澤英司）は、イベントの IT 化を促進するイベントプラットフォームアプリサービス『eventos (イベントス)』をフルリニューアルし、2018 年 9 月 12 日（水）より提供を開始します。

■開発背景

現在イベントの消費規模は 2017 年に 16 兆 6,490 億円にもものぼり、6 年連続の規模増加（※日本イベント産業振興協会）となるなど、市場が注目されています。しかし、イベントを開催する企業は運営や宣伝、集客などに課題を抱えており、また来場者にとってはイベント当日の混雑状況やブース位置がわかりにくいなど、未だアナログな運営がされていました。『eventos』はそのような課題を解決するため 2014 年 9 月 4 日に第一弾がローンチされました。

■eventos とは

『eventos』はイベントのデジタル化を促進し、プラットフォームとなるアプリ制作サービスです。イベントアプリに特化したパッケージサービスのため、最短 5 日というスピード開発ながら、イベントに必要な機能が自由にカスタム可能となっています。また、アプリ導入にかかるコストを通常の 5 分に 1 程度に押さえることができ、東京ゲームショウ 2017 や東京モーターショー 2017（株式会社ジェナと共同開発）でも使用された実績を持ちます。

【主な機能】

- ・屋内位置情報マップの作成
- ・アンケート機能
- ・イベントスケジュール管理機能
- ・来場者属性分析機能
- ・ビーコン PUSH 通知機能の搭載
- ・PUSH 通知機能の搭載など

※機能詳細は <https://eventos.tokyo/> をご覧ください。



■新機能について

①従来インターネット通信時に必要なデータ以外にも取得していたことが課題であり、その課題を解決するため、起動時に最低限のデータを一括取得し、起動中に必要な通信をほとんどなくすことで、電波状況に左右されない操作性の高さを実現。

②ネイティブ技術で画面操作の軽快さが大幅にあがり、UI/UX のリニューアルで利用者がより直感的に目的となるコンテンツにたどり着くことが可能。

③管理画面も大幅にアップデート、使用したい機能を選択し順番にデータ登録するのみで簡単に管理可能。コードの生成等も管理画面から行うことができ、どのような利用者也開発者と同等の品質のアプリを制作可能。



■『eventos (イベントス)』機能概要

商品名称 : eventos (イベントス)

URL : <https://eventos.tokyo/>

TEL : 03-6809-6064

担当 : 後藤

企画・開発 : 株式会社ブレイブソフト

■株式会社ブレイブソフトについて

ブレイブソフトは技術者主体・若者主体にこだわり、世界に通用するソフトウェアベンチャーとして、ものづくりを追求し、新しい時代を創る「最強のものづくり集団」を目指し、スマートフォンアプリや web システム等の企画・開発を行っています。『首相官邸公式アプリ』、『ポケテ』、『TVer』をはじめ、テレビ局や著名人とのタイアップアプリなど 500 件以上の開発に携わるなど、多数のヒットアプリを開発・主導。最強のものづくりベンチャーを目指して成長を続けています。

■会社概要

会社名 : 株式会社ブレイブソフト

代表者 : 代表取締役 菅澤英司

所在地 : 東京都港区芝 4-13-2 田町フロントビル 6F

設立 : 2005 年 4 月 4 日

資本金 : 1 億 1000 万円

事業内容 : イベントと IT を融合させるプラットフォーム eventos の提供。
BtoC コンテンツアプリの企画・運営
リアル×アプリを中心としたスマホアプリ受託開発。

URL : <https://www.bravesoft.co.jp/>